

+1

1000本のスターチスは会場を華やかに！▼

ありがとう！産直運動25周年 新婦人GOGOフェスタ

7月23日大阪市マイドーム大阪で、「ありがとう憲法、大好き平和の仲間たち『新婦人GOGOフェスタ』が開催されました。全体で1300名を越え、福島からは14名が参加し大変盛り上がりました！

【参加者からの感想】

7月23日「新婦人GOGOフェスタ」が大阪・マイドームおおさかで開催されました。福島農民連は産直運動25周年+1に参加し、県産商品の販売や福島農民連の取り組み、米の鮮度を判定する実験などを行いました。県産の桃が販売開始から30分程度で完売するほどの盛況。取り組みの発表でも、参加された皆さんとの質疑応答が盛り上がり、有意義な交流ができたと感じました。米の鮮度判定の実験では、試薬を使い、わかりやすい色の変化を見ていただき、参加者の皆さんは、大きな反応や驚きの声をあげていました。一緒に参加したみなさん、ありがとうございました！

福島県農民連 尾形祥吾



「せっかく、福島から持ってきたものを、このまま持って帰らせるわけにはいかないでしょ」大阪の元気なおねえさん達はそう言って、会津のミニトマトを売るのを手伝ってくれました。このようなイベントに参加するのは初めてだったので、無事に売れるのかなと開場からずっと、そわそわしていました。ですが、おすすめしている試食を食べた方のほとんどが「美味しい！」「トマトの味が濃い」「とっても甘いのね」など、言うくださり、追加で購入くださる方も。赤と黄色の、つやつやのトマト。ひとつ。またひとつと、そうして大阪の人の手に渡っていきます。

大阪新婦人の方々や、福島農民連の皆さんの協力を得て、持ってきた品物は、トマト以外もほぼすべて完売！お買い上げくださった方はもちろん、ご協力してくださった方。みなさま、本当にありがとうございました。

会津農民連 青木志穂



◀産直米と激安米の実験中

食かふえ・生産者と語ろう
午後からは生産府県からのリレートークがおこなわれました。福島からは、米作り、挨拶しました。

祝・産直運動25+1
今年は産直運動25周年+1年と、記念のフェスタでもあり、会場を盛り上げようと福島から桃や旬の野菜、加工品などを持ち込み販売しました。桃は好評で開場して30分で完売してしまうほどで、大阪新婦人のパワーを再確認しました。南会津の生産者が栽培したスターチス1000本は、ステージに飾られ会場を華やかに彩りました。根本会長は生産者リレートークで「スターチスの花言葉は『変わらぬ心』、皆さんとこれからも絆を深めていきたい」と挨拶しました。



エネルギー、避難の実態を報告しました。激安米の実験では、精米をふるいにかけてどれだけ落ちるかを試しました。産直米ではほとんど落下しないのに対して、安い米はポロポロと落下しました。よく見ると小さい米や割れた米が多く含まれています。安い米には理由があります。
フェスタ最後の抽選会では、ラフランス、シャインマスカットなど多くの賞品が当たり、スターチスも参加者にプレゼントされ喜ばれました。これからは産直運動を進め、安全な食糧をいつでもお届けできる関係を築いていきます。

◀キャー、うちの支部でラフランス当たったー



開場30分で完売。汗びっしょりです。



生産者勢揃い、今年もよろしくおねがいします！

農民連フラッシュflash

EPA・TPP 阻止全国一斉行動

安倍政権は、7月6日欧州との経済連携協定(EPA)の大枠合意を国民にほとんど説明のないまま強行しました。福島県食健連では、7月13日福島駅前前でEPA・TPP国会批准阻止の街頭宣伝を行い、国内の農業や国民生活に大きな影響が出ることを訴えました。



東北農政局交渉

7月21日仙台市内において、東北農団連主催の東北農政局交渉を行いました。来年から減反政策が終わり、転作作物の交付単価についてどうなるか農家の不安が広がっており、早急に決定するよう要請しました。また、日欧EPA大枠合意により国内農業への影響評価を早急に出すことを求めました。



夏の暑さと湿度はお米の大敵！

温度と湿度の高い夏場はお米にとっても厳しい時期。できるだけ空気に触れない(酸化を防ぐ)ことと低温保存(10℃～15℃ぐらい)が大事。こんな点に注意してみてください。

- ① 届いた袋のまま保存しない(小さな空気抜きが開いています)
- ② 密閉できる容器に移し替える
- ③ 冷蔵庫の野菜室に保存(口の広いペットボトルなど便利)
- ④ 新しいお米と古いお米は混ぜない
- ⑤ 1ヶ月程度で使い切るようにする

